

留学生インターン合同研修会開催

日管協 国際交流委員会



▶研修は和やかなムードで行われた

財団法人日本賃貸住宅管理協会(事務局・東京都千代田区)の国際交流委員会は6月26日、「JPM留学生インターンシップ制度」の合同全体研修会を開催した。留学生14人と受け入れ企業の担当者など合計37人が参加した。双方の初顔合わせと不安を和らげることができた。「検討している仕事以上に更にお願したい仕事が見つかった」など、これから始まるインターンへの期待の声が多く寄せられた。

留学生は主に韓国・中国籍の、日本で就職を希望している20代の日本の大学に在学中の学生。日管協会員の13社が各社1〜2人の留学生を受け入れる。7月中旬から9月中旬までの間に、各社4週間の受け入れを予定している。

JPM留学生インターンシップ制度は、今年3月に発表された新プロジェクト。社会貢献、外国人入居支援、賃貸管理業務のグローバル化などを目的に創設された。

クラウド活用したテナントリーディングシステム

アーキエムズ 3500件の出店情報をデータ化

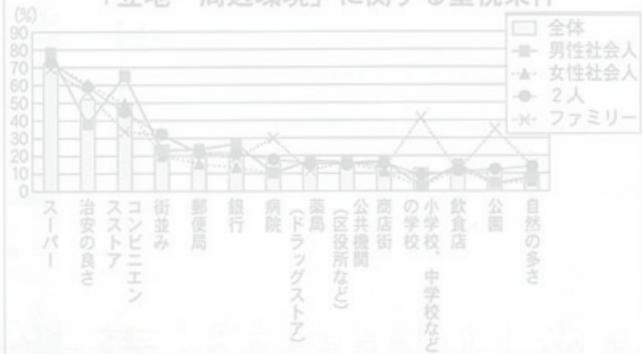
アーキエムズ(京都府京都市)は、テナントリーディングの新システム「CM-ITL(シーエムワンティール)」を7月に開始する。セールスフォース・ドットコムクラウドシステムを利用して不動産会社と出店希望情報をマッチングし、テナントリーディングシステム利用料は月額

20万円。アーキエムズは仲介手数料等は徴収しない。2011年3月末までに50社の導入を目指す。同社では、「CM-ITL」の不動産会社向けセミナーを5月から実施している。今後横浜、大阪、京都などで随時開催し、システムの説明を行う予定。

マーケットレポート

リクルート SUUMO編集長 西村里香

「立地・周辺環境」に関する重視条件



リクルート調べ

部屋を探す際、立地や周辺環境を気にする顧客は多いが、具体的にどんなポイントを重視しているのだろうか。2009年の賃貸契約者への調査(リクルート調べ)で部屋探しの重視条件を「立地・周辺環境」と答えた人に具体的に聞いてみたところ、1位が「スーパー」、2位が「治安の良さ」、3位が「コンビニエンスストア」という結果が出た。

世帯別に見てみると、社会人の一人暮らし男性の場合、全体に比べて3位の「コンビニエンスストア」の重視率が高いのが特徴的だ。食事や日用品などのコンビニエンス

立地・周辺環境の重視ポイント、生活スタイルで違い

活スタイルがうかがえる。一方、社会人の一人暮らし女性の場合は、「治安の良さ」への重視度合いが他の層に比べて高く、安全に対する意識の高さが表れていると言えるだろう。

二人暮らし、ファミリーの場合は、「治安の良さ」や「街並み」を重視する傾向がある。環境について考える際、利便性だけでなく、同居者・家族が安全・健康に暮らせることが重要になるためだろう。特にファミリーの場合は、「病院」や「小学校、中学校」などの学校など子育てする上でかかわりが強い項目が家を探す上での重要な条件になる。

エネル賃貸住 東急

東急コミュニティー(東京都世田谷区)は、東急駅前市街地住宅「および1階店舗、北広島市員貸住宅」など3団地、23棟700戸などへ今年10月から供給を開始する。賃貸住宅への導入は、管理物件の熱供給システムの老朽化に伴う更新のため。

今回導入したのは、「UR北連町団地」「UR北若葉町団地」「UR北広島駅前市街地住宅」および1階店舗、北広島市員貸住宅など。6月から設置工事を始めており、9月末に工事を終え、10月中旬から稼働する予定。

全国5カ所で加盟店会議開催

アバマンショップネットワーク

アバマンショップネットワーク(東京都中央区)は、6月末から7月にかけて全国5カ所で行った加盟店との対話会議を開催した。アバマンショップネットワークの28加盟店とFC本部は、8月31日までに各店舗の収益向上を合わせた総店策や今後のキャンペーン899店舗。